

☆オランダの絵本と音楽のひととき

『ようこそロイドホテルへ』 朗読と音楽で楽しむ絵本

(2019年11月3日 清須市立図書館)

朗読 野坂悦子、ピアノ 佐伯恵美 (鍵盤楽器奏者)

桑名市 ふるさと多度文学館で開催されたパネル展から丸 1 年。念願かなって、清須市立図書館にて「オランダの絵本と音楽のひととき」が実現しました。「ようこそロイドホテルは、お友達にピアノ演奏してもらえるのよ」という野坂さんの一言に「ぜひピアノも！」とお願い。佐伯さんの奏でる、8 歳のモーツァルトが作曲した曲や、お二人のオランダのお話にすっかり魅了され、最後の朗読と音楽による『ようこそロイドホテルへ』の絵本の世界も、たっぷり楽しむことができました。

まさしく、文化の日にふさわしい一日でした。



今後の予定

☆清須市講座

日時 2020年3月10日 (火) 10時～

場所 さわやかプラザ研修室 講師 近藤洋子

「小学校での読み聞かせについて」

対象 清須市在住の方 問合わせ 紙芝居あいち



☆平和の紙芝居リレー

2020年9月9日 (水) ～11日 (金)

松井エイコさんが豊田市内4小学校で平和授業をします。

9月に松井エイコさんを講師に

ミニ紙芝居講座を開催しませんか？



☆紙芝居はうす これからの予定

3月 9日 (月) 4月13日 (月) 5月11日 (月)

6月 8日 (月) 7月13日 (月) 8月10日 (月)

コラム 《ま・間・ま》

「この少女の口が少し開いているね、何をしゃべっているのかな？ どうしようとしているのかな？」
ハーグのマウリッツハイス美術館でフェルメール『真珠の耳飾りの少女』を観賞する先生と生徒達とのやりとり。生徒達は積極的に手を上げて答えていた。残念ながら答えは聞き漏らしてしまったが、その姿勢に興味を持たされた。また、図書館の児童室の壁面は一面カラフルな楽しい絵が描かれていた。小学校で紙芝居を見た子ども達は、コックさんの単純な絵に興味を示した。ほんの少し垣間見たオランダの子どもたちの風景だったが、世界的な画家フェルメールや、うさこちゃんの作者ブルーナを擁する環境は絵画・色彩に対する意識が培われているようにみられた。オランダのイメージは、風車と水とチューリップ。確かに色彩豊かだ。今回出会ったのは水。風車は車窓から 2 基だけ。駅からは原子力発電の塔が。でも市中の建物はかっちりきっちりと定規を使って描きたくなるような美しさだった。初めてのオランダ！

紙芝居文化の会 あいち とは

こんなことやりたい

- ・通信を発行します
- ・紙芝居講座を開催します
- ・情報交換をします

会員になるには

紙芝居文化の会にご入会下さい

詳しくは、紙芝居文化の会:

<http://www.kamishibai-ikaja.com/>

または、下記連絡先まで

紙芝居文化の会あいちの会費は不要です

愛知県内だけでなく近隣の方々もご参加下さい

連絡先

〒470-0126 日進市赤池町村東149

紙芝居文化の会あいち代表 近藤洋子

FAX 052-801-5794

kamishibaiaichi@yahoo.co.jp



紙芝居文化の会 あいち

第17号

2020.2



紙芝居文化の会とは

- ・紙芝居を愛する人
- ・紙芝居に興味のある人
- ・紙芝居を演じたい人

さまざまな思いの人、海外の人とも

出会い、交流する場です。

(2001年創立 事務局東京都三鷹市)

海外紙芝居講座

この秋、紙芝居文化の会の海外講座が開催され、ヨーロッパに近藤・青山、メキシコに道山が参加。

★ヨーロッパ紙芝居講座 (2019年11月21日～29日)

パリ日本文化会館でのシンポジウムを皮切りに、リヨン、ベルギーのアントワープ、アムステルダムで紙芝居の講座と実演を行いました。



「紙芝居の学校は、あるの？」

「紙芝居は、いつ見るのが一番いいの？」

フランスリヨンを市立図書館で、初めて日本の文化である紙芝居を見た子どもたちの質問です。

一つ一つの質問に、酒井代表は丁寧に答えていました。大人も子どもも、魔法の箱から醸し出される世界に夢中で見入っていました。異郷の地で、紙芝居を中心とした和やかな時間が過ぎて行きました。

紙芝居に興味を持った子どもたちが、いつか日本を訪れることを期待します。



詳細は紙芝居文化の会 Website:
<https://www.kamishibai-ikaja.com/>

★メキシコ紙芝居講座 (2019年11月22日～27日)

「第1回紙芝居と語りの国際会議」のオープニング講演と演じ方のワークショップ。その後「第7回 紙芝居と語り手の国際フェスティバル」にて、各地で紙芝居の実演を行いました。



メキシコには印刷紙芝居はなく、手作り紙芝居です。各地に作者、演じ手があります。なぜ、こんなに広がったのでしょうか。それは、もともと語りを楽しむ文化があり、そして熱心なリーダー（マリア・テレサさん、マリア・フェさん）がいることです。でもそれだけでなく「人と人が向かい合い、生の声でお話を伝えたい」と、幼い頃からユーチューブ漬けとなっている子ども達を心配する図書館司書や教師が紙芝居を普及させました。一番驚かれたのは、私がパフォーマンスをしないでも、観客とコミュニケーションがとれたことでした。優れた作品はオーバーに演じなくても作品を理解すれば、観客に届くことを伝えました。

「クレッセ クレッセ アステ マジョール」

（おおきく おおきく
 おおきなあれ）

実演では大きな声で観客が応えてくれました。800人も集まった会場もあって、びっくり！



紙芝居お話し会＜プログラム紹介＞

★お寺で紙芝居「こどものつどい」安城

2020.1.4

<プログラム>

『ふうちゃんのそり』

『ひそひそねずみとおばあさん』

『てぶくろをかいに』



★犬山市立図書館 紙芝居おはなし会

2020.1.

<プログラム>

『ばんぼこぼん』

『しましま』

『なかまはずれのねこ』

『ねずみきょう』

ねずみねずみどこいきや などのわらべうた



12月7日世界KAMISHIBAIの日

★愛知県図書館

リニューアルした愛知県図書館 1 階エントランス yotteco で、「紙芝居の広場」を開催しました。

赤ちゃんから高齢の方まで（のべ 70 名）おすすめ紙芝居 40 作品を司書さん、県図書館おはなし会サポーターのみなさんと 11 時から 15 時までエンドレスで演じました。観客のみなさんから紙芝居をリクエストしていただいたり、楽しくそして、勉強になった 1 日となりました。



日進図書館、豊田市子ども図書館、安城他でも開催されました。たくさん子どもと大人が紙芝居を楽しんだ一日でした。

2020年12月7日は月曜日

12/5 (土曜) 12/6 (日曜) の開催も検討してね